



Aware kitten

League of Legends fan book

ADULTS ONLY
R18
成人向け

for adult only

あの日……

全てが滅茶苦茶になる前
最後に覚えているのは
理不尽の権化のような
悪魔の姿だ

よう兄弟
調子はどうだい？

良いわけねえか

ヒヒヒ……ッ

テメエにや恨みも
何もありませんが
俺様のためなんだ

悪いね

なアに
命までは取りや
しねエよ

死んだら
金にならない
からなア

クヒヒヒ……ッ

その後の事は
できれば
思い出したくない

あの悪魔は知識欲の
赴くままに私とピックスの
頭と体を弄くりまわした

泣き叫ぼうとも
限界ギリギリまで
実験は止まらず

後に残されたのは
すっかり魔力を
失った魔女と

飛び方も何もかも
忘れてしまった
物言わぬ妖精

さアて……

欲しいモンは全部頂いたし
そろそろお別れかねエ

役立たずになった私達は
あっさりと売り払われた

奴隷として売られてから
何度も競売にかけられたが
私達が売れる事は無かった

もっと愛想良く
しろって言ってる
だろうが!!

あの悪魔と関わりが
あると聞くや誰も彼も
逃げてしまう

当然だろう
わざわざ狂人と関わりを
持ちたがる人間など居ない

好事家に高く売れるかと
思ったがとんだ不良品
じゃねえか!!

糞が!!

いぎッ

やめてッ

ぎゃッ

あぐッ

うああッ

アテも皮算用も外れた
奴隷商の男は日毎に
苛立ちを募らせ

それに比例して
私の扱いは日に日に
目に見えて悪くなった

食事は残飯水も碌に無く
薄汚れて暴力は苛烈に

なけなしの食べ物も
ピックスに分け与え
私はいつも飢え
乾いている

う...うう...

いたい...

お腹空いたよ...

幸か不幸か薄汚れた
私を抱く者は居なかったが
戯れに交わる身綺麗な
性奴隷達を見ると

ねえピックス...
私なんで
生きてるんだろ...

死んじゃった方が
楽なのにな...

ゴミの様に扱われる
自分と比べてしまえばその度に
惨めな気持ちになってしまう

その妖精は君の友人かね？

彼がやって来たのは全てを諦めかけた頃だ

君はその子を助けるために何でもできるか？

驚いた私に興味をもつ物好きがまだいた事に

狂喜した

ほん…とう？

本当に…この子は…ピックス…は…治る…の？

確約はしないがね君が本当に何でもできるといふなら私も手を尽くそう

この地獄から抜け出せるかもしれない事に

全部ウソだ

おね…がい

お願い…しますッ

ピックスを…友達を…たすけて…

ギリギリの所で射した光に私の中のナニカが音を立てて壊れていく

そのためなら…何でもしますッ…だからっ!!

なんだっていい私はこの地獄から抜けられるのならなんだっていいんだ

あれから

このお屋敷に
奴隷として住み始めて
もう随分経つ

ふっ…ん…
ぢゅッ…

だん…な
……さまっ♡

どう…かひらっ
きもひ…ツいい？

ああ

最初の頃と比べると
随分上手くなった

ふあいつ♡

だが舐めてばかり
ではいつまで経っても
イケないぞ

教えた通りに
やるんだ…

あの日から
少しずつ
旦那様直々の
調教を受け

近頃は随分様に
なってきたと思う

うう…はい



うう……っ
やっぱり旦那様のおちんちん大きすぎよお……

そ……
それじゃあ……



おおっ
良いぞ
ちんぽは喉で
しごくんだ

んん……っ♡

これ……っ
苦しいから……にがてっ

んむっ

んむう♡

す……っ♡

ふぐっ♡



ふう
そうだ
口と喉を使って

ちんぽ♡

もっと素早くっ
おっおっおっ



いいぞ咽奥が
絡みついてくるっ

んうっ♡

っ♡

んっ♡

す……っ♡

ぐりっ

ぐりっ



噛むなよっ

んむっ？

さあ次の
ステップだっ



ブクッ

おッ

!?

ぶおごッ!?

ブクッ



んう

ああアイイぞ
咽奥が痙攣してッ



くおおッ
でるッ

おおッ

上手いぞもつとだ!!

ブクッ

熱いッ

熱くて大きいので
口から喉まで全部
滅茶苦茶にされてるッ

苦しいのにッ♡

苦しいッ

だすぞおッ!!

ぬおおツ

んぶうツ

おごおツ♡

おおつおツ
絞り取りおるっ

おツ♡

多…すぎッ
濡れ…っちやう♡

ふうふう…

相変わらず
お前の喉マンコは
素晴らしいな

まだ射精てる…
お口も喉も全部
犯されちやつてる…♡

道具みたいに
滅茶苦茶に犯されて
感じちやつてるよお…♡

これだけでも
買った甲斐があったと
いうものだ

開き直って調教を受け入れてしまえば屋敷での生活はとても素晴らしかった

温かい食事に綺麗な服毎日お風呂に入れて屋敷の皆は良くしてくれる

良い子だ

最後は尿道の中までしっかりと吸い出すんだぞ

よし上出来だ

しかし相変わらず飲むのは下手だなこぼすなど言っているだろう

そんな扱いを受けるだけでも奴隷としては破格の幸福なのに

まったく仕方がない綺麗な掃除をしる次の調教にいくぞ

調教時も苦しい事はあるが暴力を振るわれたり無理な行為をする事は無い

気持ち良くしてくれて上手に奉仕できたら頭を撫でて口づけをしてくれる

ごめ…けほつごめんなひやい…

でもっ…旦那…様のが…濃すぎ…なんですわっ♡

ふあい…♡

私はどんどん旦那様に心酔していった…

ビクン
ビクン
ビクン

ゴッ

ビク

ビク

ゴッ

はー♡
はー♡

はー♡
はー♡

はー♡

ちほん



だが
時折酷く不安な
気持ちになる…

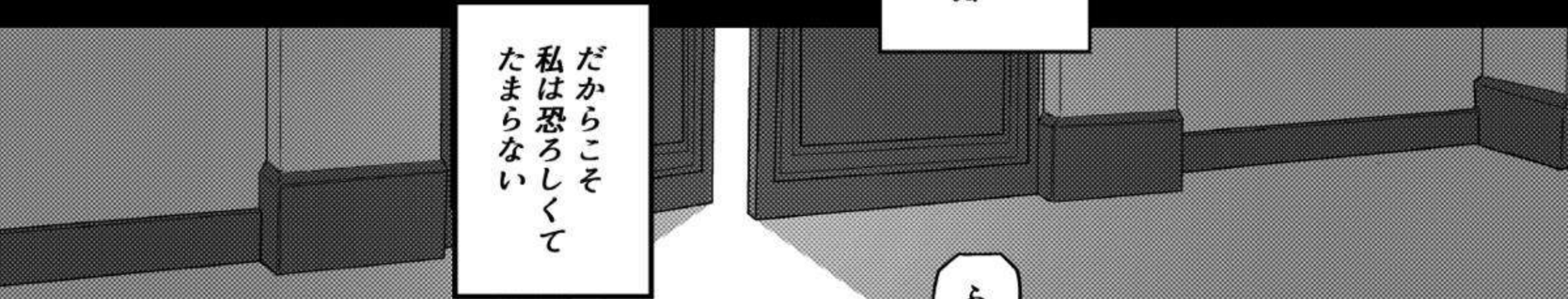
こんな小さな体だから
だろうか私はまだ
旦那様に抱かれていない

普通の奴隷ならば
喜ばしい事なの
だろうが



今は…

私はもう無能者で
放り出されれば
どこぞでのたれ死ぬ
だけだ…



だからこそ
私は恐ろしくて
たまらない



ふああっ♡

あッ♡

ご主人様ッ

ご主人様あッ♡



もし彼に飽きられたら…私死ねか地獄へ逆戻りか



ふあ…♡

ん♡…♡

その恐れがより私の心を焦がしてどんだん彼に奉仕するようになった

執着のような依存のような感情が煮詰まってドロドロになったそんな頃

彼はここに来た奴隷が『そう』なると知っていたのだから…いや…仕向けているのだから



今…目が…

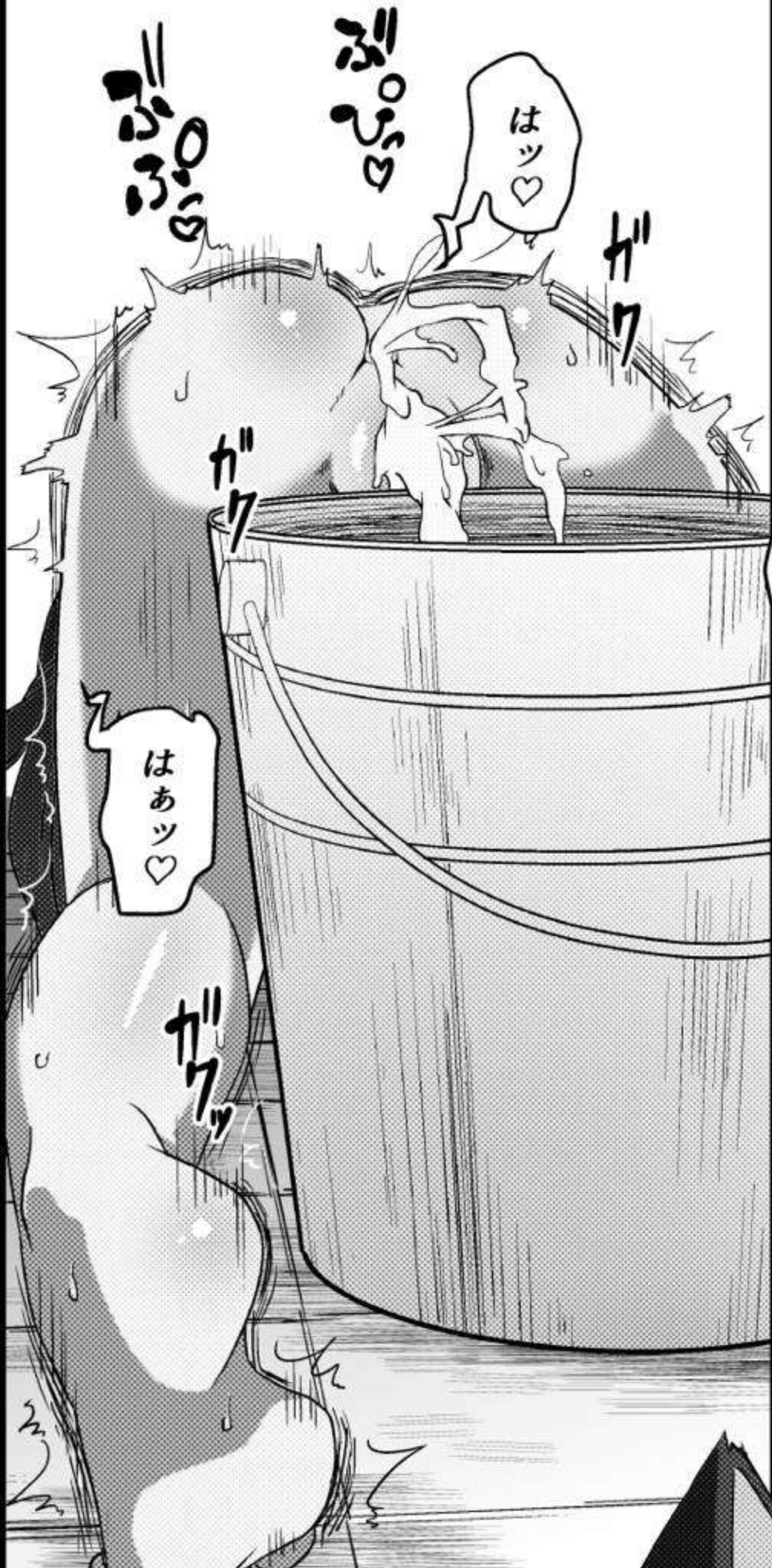


あれ…？



!?

次の日私は初めての夜伽を命じられた



ケツ穴とマンコからの
排泄アクメも様になったな
ククク...良い子だ

ひやい...
あり...がとう
ごじやい...まふ...♡

汚れを落としたり
寢室へ来なさい
お待ちかねの時間だぞ

あい...



ふむ…我ながら
良い仕上がりだな

ククク…
どうした情けない
声を出して…

だ…旦那様あ…

わたしの体…
どうなってますの…?
熱くて…切なくて…ツ

はっはっは
まあ直にわかるさ
さ…早く始めなさい

ふ…ふあい…



どれ…



なにこれっ♡

ぜんぜんちがッ♡

いっせー♡

あ♡

おちゅわん♡

おちゅわん♡



イツたまま…
戻って…これっ…
ないよっ…

おか…し…っ

おちゅわん♡

おちゅわん♡

おちゅわん♡

おちゅわん♡

おちゅわん♡

おちゅわん♡

おちゅわん♡

おちゅわん♡

ア
ア
ア...

どうだ今までの調教と媚薬の効果のほどは天にも昇る気分だろうか？

あ...うあ...

む...むい...
これ...らめ...
ですう...

おいおいおい
逃げるんじゃないよこれからが本番じゃないか

レ

は...
♡

ほうら...
抱っこしてやろう

どいつも最初は泣きわめくが直に自分から欲しがると怖がらなくてもいいさ

クククク...

それともなんだ...元の場所に戻るか...？
クククク...

ク
ク
ク

レ
レ
レ

レ
レ
レ

さらに
ここから——ッ

ふんぬ——ッ

オハッ

オハッ

はははッ!!
一番奥まで入った
感想はどうだ!!

おしゃべり

くおおッ
竿が食い千切られ
そうだぞ——ッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ



ギユウギユウ
締め付けおって!!
子宮まで犯されて
イツておるのか!!

中に射精すぞツ!!
全部一番奥で
飲むんだツ!!





うおお...ッ

おほお...お
おほお...ッ

おほお

おほお

おほお

おほお

ジュウッ

ジュウッ

ジュウッ

ジュウッ

ジュウッ

ジュウッ

ジュウッ

ジュウッ

ジュウッ

ジュウッ

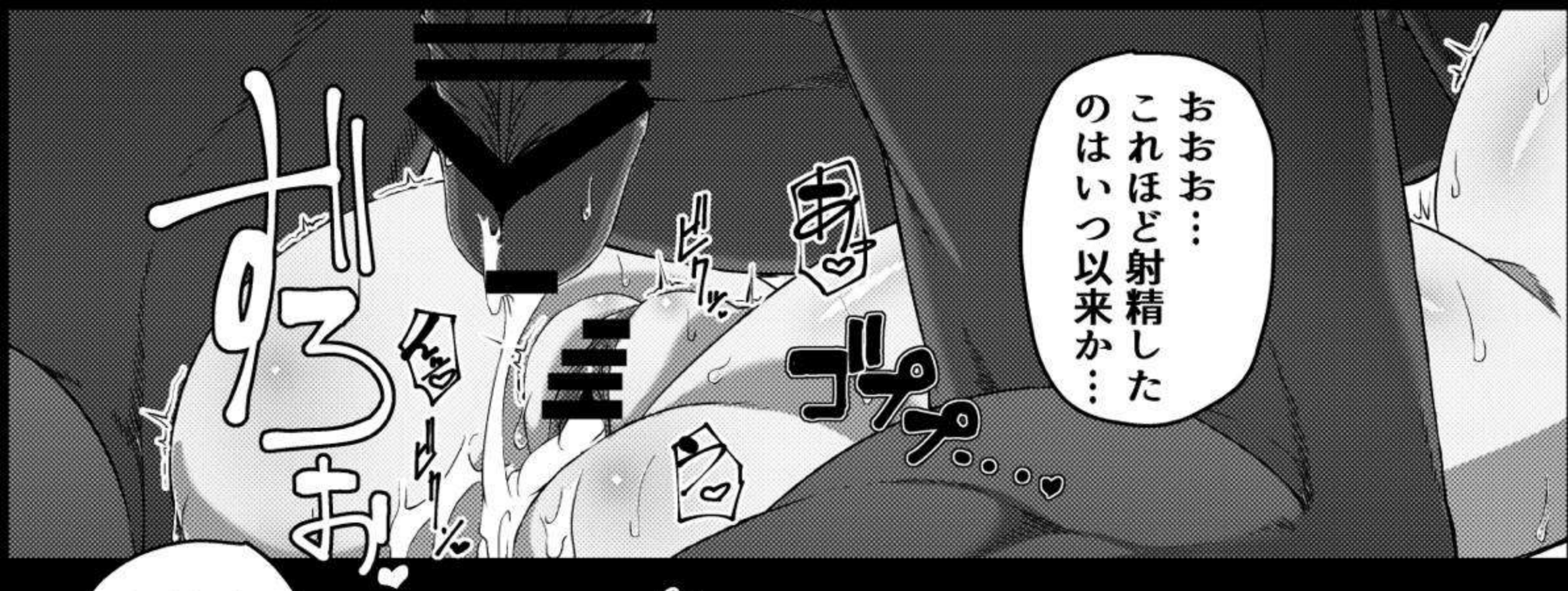
ジュウッ

ジュウッ

ジュウッ

ジュウッ

ジュウッ



おおお…
これほど射精した
のはいつ以来か…



全部飲めと言ったのに
射精したそばから
あふれ出ておったな

今度は精子を
子宮に溜めこめる
ようにイジって
みようか…



ほれ何を
呆けておるか

まだ夜は始まった
ばかりだぞ…?

to be continued...?

本誌：Aware Kitten League of Legends fan book

発行日：2017年12月31日

発行：ぽんぽ小屋

作者：ぱんだぬき

印刷：サングループ

presented by ぽんぽ小屋